

文芸欄



俳句

紅梅会 (東灘区)

友送り話題は一輪花すみれ
桜並木川の流やゆるやかに
地植えして薔薇の芽吹きに庭の景
明け方の着信音の訝渡る
木蓮の赤むらさきのなごみ色
大桜登竜門の空招く
山ふくれ鳥帰るなり山道へ
見上げれば花の天上吉野岐

宝愛句らぶ (中央区)

夏来る米騒動の古々々米
初夏の風ハーブ一葉ツンとして
満緑の木々の中より雀の子
梅雨晴れ間窓全開の一日かな
「川」という歌の調べぞ梅雨の星
山海へ埋め立て島や今若葉
校内に隠れ傘まつ梅雨の午后

梅の美会 (兵庫区)

新らしきベッドに馴染めぬ明易し
千年の歴史を誇る扇子かな
かちわりや丸刈り球児の泣き笑い

高原ささゆり会 (北区)

秋始む湯宿の緑静かなり
友集う秋めく丘のレストラン
終生を忘れぬ原爆終戦日
雨粒のコロンと落ちて花桔梗
コンビニの袋を揺らす青嵐

ひまわり句会 (北区)

花菖蒲前の道から見る我が家
陽差し受け植田日ごとに色を増し

ひよどり台句会 (北区)

新緑の山に見とれてバス逃す

高原ときわ会 (北区)

雨夜半ホトトギス鳴くエールかも霞む目凝らし縫うひと針や
懐かしき曲をひとりくちさむ夕暮れを知りうたう朝の歌
オレンジの大きな朝陽に見守られ今日も良き日と君を送れり
庭の草雨雨雨に生き生きとこれも風情と紫陽花ながむ

花山短歌会 (北区)

わが脳の八十五歳の衰えに祖母・父・母の老いをよく思う
絶対に返事の来ないメール打つなにゆえ急ぎそちらにいった
小春日の日差し嬉しき車いす母親九十八歳友との語り
四季よりも二季がよいねと語り合う短かい秋を満喫したい
樹下より吹きくる風の透明な目には見えねど靴なでる秋

廃線のトンネルの先夏木立
母の日や感謝状とビタミン剤
風よ吹け願ふ園児等鯉のぼり

北斗句会 (北区)

藻の花をぐらりと揺らす堀の鯉
特大の茅の輪くぐりて姉見舞う
藻の花や底まで映ゆる空の蒼
八十路入り急がぬ余生平泳ぎ
ジム通い古式泳法吾れ一人
澄み渡る疎水の花藻波任せ
藻の谷間なで肩金魚通り抜け
シンクロの水面隔てる美と苦悶

見山台新樹会 (北区)

好かれしか蛸服の前を離れずに
樟若葉神社の庭の簪の目
はや卒寿故郷は達し花は葉に
パレットにイエローオーカー麦の粒
しょうぶ湯や子はすやすやと母の胸
階段に日傘下りゆく白と紺
古代米醸してピンク愛の酒

五色山健寿会 (垂水区)

友逝きて空木の花の咲きつづく
天地の揺れて悲しき蟻の穴
万緑に呑み込まれゆく一軒家
あちさみや彩度高めて雨の中
米や米早稲田神事の空仰ぐ
蛸壺や子午線航る舟一つ
新緑や折り目なき書をめくる午後

桃山台クラブ文芸部 (垂水区)

年寄りの冷や水もよし梅雨のジヨグ
月白し地球のどこか戦火あり

きらく句会 (西区)

田植え済み苗ゆらそよりこしひかり
茗荷伸ぶ忘れ上手になれぬまま
あじさいの咲く坂登り城跡へ
屋形船揺れて揺られて蛸狩り
幾日でも泊りゆかんせ時鳥
年半ば気ばかりあせる日々である

筒井 豊子
中井 光子
矢谷 登美子

岸下 正二

久松 礼子

増田 嗣夫

秋山 弘之

松本 洋子

坂本 宏信

山崎 美雪

丸尾 嘉子

佐溝 満喜子

高石 勝行

卓永 弘子

藤田 和夫

松隈 弘子

石本 宏一

智 子

眞みこ

波 音

邦 子

多美子

淡 咲

大上 昭敏

田畑 美恵子

大橋 治子

森本 珠実

坂本 道子

喜田 弘征

尾上 正紀

梅雨晴間癒やし枕辺スヌーピー
久し振り孫に会ったアロハシャツ
訪い行けば、垣根伝いて、雪の下
誰だ誰？話しながら考える
歳々に彩をたがえる七変化
草取りの入れるバケツや赤トンボ

川柳

深江親交クラブ (東灘区)
抱きあげる重たやひ孫すわり抱く
行く所することあるのがめっちゃ嬉し
葉桜にあちこち見えるサクランボ
後悔はやさしさ足りぬ我が心
卒寿過ぎもう仲間だぞ枯ススキ
冷蔵庫開けたり閉めたり何かがず
下駄履いてアスファルト踏むカタカタと
同窓の集い楽しくあなただれ

桂木ひふみ会 (北区)

誰彼についておはようという天気
多事多難有終の美をねりあげる
難病に打ち勝つ強さ日々決意
就活に思案巡らす老夫婦
君なげくな運は自ら作るもの

筑栄会 (北区)

癖も減りそろそろ来たか認知症
けしごむを使わず消える我が記憶
初夏になり長さを競う藤の花
流されて大河にそそぐ一滴の水
万博でジジババ一杯未来館
野におけばいい山野草鉢に植え
若かった前の万博いま白髪

◆個人

勝敗が孫とのツールタイガーズ
セルフレジ「眼鏡忘れて…」言い訳を
備蓄米どこに闇もち麦よ来い
ん？何をしに？もともにとつてやりなおし
ナツメロが俺を呼んでる令和の世
天命を使い果たして行く余生
初恋は土手の彼岸の曼珠沙華
雨の日の足踏み1000歩家の中

福井 悦子

山上 幸子

山田 キミ子

渡部 恭子

佐山 美代子

粕谷 政男

清水 育子

辻本 美佳子

林 芳一

東方 輝子

荒木 宗Q

京念 久美子

笹岡 淑子

杉尾 悦子

大和 ケント

かほう

勢 似

三 茶

ポ ン

かをる

まさこ

あきら

菅原 知香

都倉 知子

北野 利一

じゅん

小高 肇

久山 節子

蔭山 宮子

藤原 健二

上田 節子

大賀 清子

江口 啓子

桑原 美也子

堀江 千生子

増田 當代

◆個人

ほろ酔いの胸に浸み入る白南風よかの人遠き星合の空
ドクダミも摘みほし焙じて十葉にサロン仲間の体調守る
恙無く暮らす一日の午後十時ゆつたり浸かる至福の湯舟
今日も楽しかったね友のあいさつが心地よい
成長す大学生なる男の孫は背丈の高く吾を見おろす
草も木も静止してゐる風の刻ひらひら白蝶翻り消ゆ

市老連HPもぜひご覧ください！



神戸市老連のホームページには、シニアライフをもっと楽しく、健康的におくるための情報が充実！
◀QRコードからぜひチェックしてみてください！

あとがき

厳しい残暑が続いております。会員の皆さま夏のお疲れが出ておられません。朝晩は幾分過ごしやすくなってきましたが、季節の変わり目は体調を崩しやすいもの。体調管理に気をつけて、各地で様々なイベントが開催される秋を元気に目一杯楽しみましょう。

とっておきの作品



「仲間」
【垂水区】つつじが丘シニアクラブ
富樫 紀陽美



交通事故 金 銭 など
土地建物 夫婦関係 お困りの方
相続 面会交流

無料 予約不要 最高裁委嘱「調停手続相談」

調停委員が調停のメリットや手続きについてご説明いたします！

日 時 : 令和7年10月18日(土)
午前10時~午後4時
(受付は午後3時30分まで)

場 所 : 中央区文化センター
(神戸市中央区東町115番地)

主 催 : 兵庫県調停協会(担当:神戸調停協会)
相談担当者: 民事調停委員及び
家事調停委員(弁護士を含む)

■問合せ先 神戸調停協会(神戸簡易裁判所内)

(078)367-1179